

施策番号	0403		
施策名	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ		
概要	自主的に取り組む地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップを確立するため、京都市が新たなしくみづくりや支援機能の強化を図る。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市地域コミュニティ活性化推進計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている 学区数(学区)	b	c	72	75	89	84.3%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	c	c	14	90	208	76	45	433
				3.2%	20.8%	48.0%	17.6%	10.4%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	c	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 地域コミュニティは共同体意識を基礎とすることから、その協力体制も実感されることに意義があるため、市民の実感に重みを置く。						29 年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・まちづくりアドバイザーが新たに支援を開始した学区はある(20学区)ものの、これまで複数年にわたり支援を行っていた学区の活動が軌道に乗り、支援が不要となる学区もある(17学区)ため、全体の増加が鈍化に転じている。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」や、「京都市地域コミュニティ活性化推進計画」に基づき、総合相談窓口「地域コミュニティサポートセンター」の開設をはじめ、自治会・町内会への加入呼び掛けポスター、市内転入者への啓発チラシ等による周知・啓発、「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」の創設など、様々な取組を進めてきたものの、効果的な活用がされていないことが原因であると考えられる。						28 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	【北区】区民提案型支援事業	21,934	22,111	かなり良い	区役所
2	【北区】共汗型事業	39,468	43,757	普通	区役所
3	【上京区】区民提案型支援事業	10,451	14,455	かなり良い	区役所
4	【上京区】共汗型事業	53,276	91,737	かなり良い	区役所
5	【左京区】区民提案型支援事業	15,520	16,872	かなり良い	区役所
6	【左京区】共汗型事業	84,620	79,776	良い	区役所
7	【中京区】区民提案型支援事業	11,932	12,508	かなり良い	区役所
8	【中京区】共汗型事業	45,381	46,251	良い	区役所
9	【東山区】区民提案型支援事業	17,890	18,334	かなり良い	区役所
10	【東山区】共汗型事業	28,883	28,576	悪い	区役所
11	【山科区】区民提案型支援事業	14,855	19,352	良い	区役所
12	【山科区】共汗型事業	59,940	65,540	かなり良い	区役所
13	【下京区】区民提案型支援事業	16,546	16,785	かなり良い	区役所
14	【下京区】共汗型事業	28,765	31,325	良い	区役所
15	【南区】区民提案型支援事業	10,153	10,994	良い	区役所
16	【南区】共汗型事業	62,919	62,905	良い	区役所
17	【右京区】区民提案型支援事業	13,322	17,029	普通	区役所
18	【右京区】共汗型事業	94,537	92,865	かなり良い	区役所
19	【伏見区・深草支所・醍醐支所】区民提案型支援事業	90,537	36,963	かなり良い	区役所
20	【伏見区・深草支所・醍醐支所】共汗型事業	94,034	149,472	良い	区役所
21	【西京区・洛西支所】区民提案型支援事業	13,645	16,689	普通	区役所
22	【西京区・洛西支所】共汗型事業	115,368	139,570	普通	区役所

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成28年3月に改定した「京都市地域コミュニティ活性化推進計画」に基づき、平成28年度には住宅事業者が新たな転入者等に対し、学区情報の提供や自治会の加入啓発を行うことなどを内容とした協定を本市と締結したほか、学区内で活動する各種団体等の連携を強化し、地域課題の解決や自治会加入促進等に取り組む「地域力アップ学区活動連携支援事業」を実施している。

・これらの取組について、区役所・支所をはじめ、まちづくりアドバイザーや地域コミュニティサポートセンター等がしっかりと連携しながら、現状や課題をより的確に把握し、それに応じた自治会・町内会への効果的な支援を通じて、地域コミュニティの更なる活性化を図る。

施策名	0403	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ										
指標名	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)											
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 4 9								
1 指標の説明												
地域コミュニティの自主的な活動に対し、まちづくりアドバイザーが支援を行っている学区数												
2 指標の意味												
住民が主体的に課題に取り組むまちづくりに向けて、地域組織と京都市の共汗によるまちづくりの進捗状況を示す指標												
3 算出方法・出典等												
算出方法：まちづくりアドバイザーへの調査												
4 数値												
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	72	75	3学区増加	89	平成22年度の現況値が47学区であり、平成23～32年度に110学区（年6学区増）にすることを目標とする。	84.3%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値		110学区	32年度	68.2%	平成23年度から32年度に年6学区増							
5 評価基準												
目標値に対する割合が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満												
6 基準説明												
目標値をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。												
7 評価結果												
<table><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>b</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>							28	29	30	b	c	c
28	29	30										
b	c	c										